

DX 推進への取り組み

AI・データサイエンスセンター

現在、ビッグデータの登場に引き続いてのAI革命により、あらゆる産業から日常生活にまで広範に大きな変革が起こりつつあります。そのような時代の転換点において、人類の幸福と社会の持続的発展に寄与する長期的理念は堅持しつつも、社会のニーズに適切に対応できる人材養成を担うことは、大学に課されたもっとも重要なミッションです。このような時代の要請に応えるべく、2020年4月にAI・データサイエンスセンターを設立しました。

全学的リテラシー教育

理系・文系を問わず情報社会に必須の全学向けのリテラシー教育を企画・立案し、実施する

AI、データサイエンス、セキュリティ、個人情報の取り扱い(例えば、General Data Protection Regulation (GDPR) や信用スコア)など、文系・理系の区別にかかわらず、現代の情報社会における社会人として必修の内容を学ぶ全学教育を実現し、持続的な運営を行います。

社会との共同研究

産業界等とAIやデータサイエンスを活用した共同研究を行う

さまざまな産業分野で急速にニーズが高まっているAIやデータサイエンス技術と現場の知見の融合を、共同研究による研究活動を通して推し進めながら人材育成につなげ、またそれらの活動を基に学内外に学びの場を提供していきます。

社会貢献・連携事業

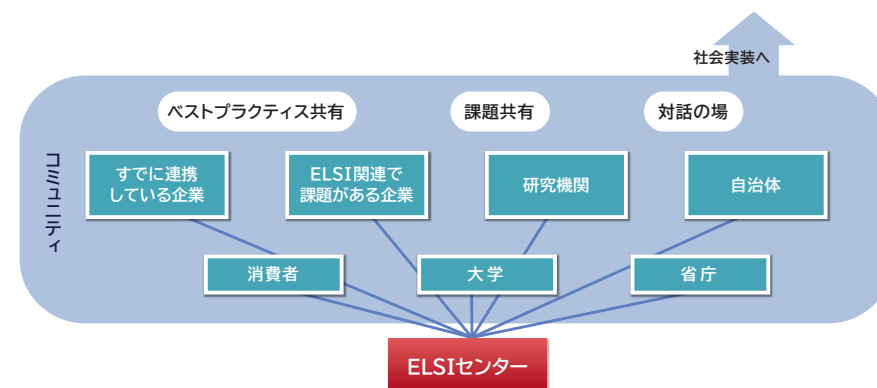
AIやデータサイエンス領域でリカレント教育を含む社会貢献・連携事業を行う

さまざまな産業分野で、企画・研究開発・製造などの各プロセスのスマート化による国際競争力の強化が求められています。スマート化ではビッグデータ、AIやデータサイエンスの解析技術(アナリティクス)、現場の勘や経験を適切に融合することが肝要です。現場の勘や経験をアナリティクスにつなげるためには、当該分野の知識に通じたエキスパートやメンターの存在が欠かせません。本学には多様な学部・学科があり、広範な分野をカバーしています。また、急速にニーズが高まっているAIやデータサイエンスに関わる学びの場を学外に向けても提供してまいります。

ELSI センター

現在、AI技術等の急速な進化にヒトの知恵さえも追いつかず、企図した理想社会とは逆のディストピアが現実のものになるという危惧さえも指摘されています。そのような状況下において、中央大学ではELSIセンターを2021年4月に設立し、英智を集めて解決すべき課題群について熟考し、ソーシャル・イノベーションを通じてインクルーシブな社会へと発展させるため、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を目指します。

中央大学 ELSI センターでは、コミュニティを形成し、学外組織との連携を図ります。



ロゴ



ロゴに込めた思い

「人をとりまく技術革新との共生」をモチーフとしています。人と技術の共生を目指し、ヒューマンセントリックでインクルーシブな社会に向けて、中央大学ELSIセンターがマーク内の中のドットとして社会と技術を「つなぐ」役割を担い、信頼されるAIの社会実装をはじめとするDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に貢献することを表しています。

- 黒い円(スクエア)=社会
- マーク内のドット=人や技術革新によってもたらされるビッグデータ
- マーク内の大きなドット=ethical, legal and social implications (Issues)
- ドット繋ぐライン=Socially Acceptable (交差し繋がる)